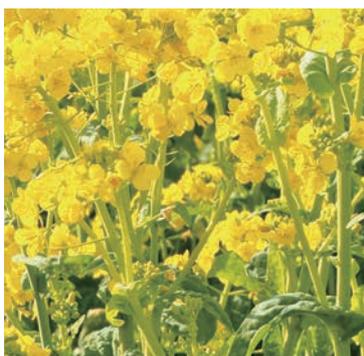


山荘だより



2019.3.15 No.105



社会福祉法人
木田福社会

特別養護老人ホーム 白山山荘 特別養護老人ホーム みき山荘

社会では よい介護をめざして～

褥瘡完治！

平成30年度香川県老人福祉施設協議会研究大会で白山山荘の安西介護係主任が「褥瘡完治！」ご家族からのバトンを受けて「実践発表をしました。」

症例紹介と既往

平成元年 Y様女性81歳
交通事故で手足のしびれ、腰背部痛、脊柱の変形

平成20年頃 物忘れが出現

平成24年 レビー小体型認知症の診断

平成26年 デイケア、訪問看護を利用し、ご主人の介護を受けながら在宅生活を継続、仙骨部に褥瘡（床ずれ）を発症。担当医から褥瘡の完治は難しいと言われる

平成27年

ショートステイ利用開始、「体カアップから褥瘡の改善を図る」という目標を設定する

平成28年

長期入居開始

具体的な取り組み

水分栄養

1日にタンパク質強化水分ゼ

リー2本と高カロリーゼリー3本を提供

スキンケア

入浴と毎日瘡部を洗浄・処置・保湿に努め、日中はポータブルトイレ使用

圧迫・ズレの除去

エアマット使用し2時間毎の体位変換、ベッドや車椅子の姿勢に注意、除圧

順調な毎日に落とし穴

ご主人の食事介助で、好きな米飯を食べ、体重も徐々に増加。平成28年3月に虫垂炎で手術し、食べられていた米飯も退院時には口が開かなくなっていた。

新たな課題

カンファレンスで、認知症やパーキンソン症候群のためか口が開きにくいことが、食べにくくなっている原因ではないかと、口腔ケアが提案される。

協力医である蓮井歯科ファミリークリニックの蓮井義則院長が20数年前から当施設で口腔ケアに取り組み、現在週1回歯科衛生士と口腔委員が口腔ケアを行っている。また、瘡が治る為

は口から栄養を摂ることが大切と考え食事量アップに繋げる取り組みを始めた。

ムセずに水が飲める

声掛けに対して頷きや発語があり口腔ケアで徐々に口が開くようになる。唾液分泌が良いと食べやすくなるので食事前後の口腔マッサージを行い、Y様をモデルにした口腔マッサージの研修も開催した。

自然食品を希望されていたご主人も、栄養を優先した高カロリーゼリーを介助。職員も水分が十分に摂れるよう日々試行錯誤し、ベッドを30度起こし寝呑みを用いると、ムセずに飲めることがわかり水分の問題もクリアできた。



家族の思い、葛藤



ご家族からのバトン

介護職員はご主人から食というバトンを受けて、日々の中で培った介護力を活かして食事の意欲が湧くような声掛けをした。口に入れるスプーンの角度等、様々な手法で食事介助をした。

今では用意したお食事をほとんど食べられるようになり、体重は約16kg増えて理想体重まであと3kgとなった。完治は難しいと言われていた褥瘡も平成30年3月、完治の診断にご家族も喜ばれた。

これからも口から食べられ、褥瘡再発予防できるよう多職種協力してケアに当たり、Y様、ご家族様の思いに寄り添い、新たな実践ができるよう努めて参ります。

雑祭り



綺麗に飾られた雛人形を見ながら甘酒と3色ムースを頂きました。その後、お雛様と写真撮影。みんな満面の笑みを浮かべ写真に納まりました。



初釜

普段と雰囲気の違いある会場、「何があるんな。うわ！綺麗にしとる」とやや緊張気味な入所者様。着物姿の職員が運ぶお抹茶にお正月を楽しみました。

節分

昼食に巻き寿司を食べて午後は鬼退治。「鬼は外、福は内」迫りくる鬼に豆に見立てた固く丸めた新聞紙を投げつけます。多勢に無勢でさすがの鬼も退散するしかありません。



餅つき

今年もみんなで、蒸しあがったもち米をこねて、ついて、ついて。「よいしょ」の掛け声とともに入所様が振り降ろす杵は職員がつくよりも高く上がっていたかもしれません。餡を包んだお餅は格別です。



クリスマス会

サンタさんが皆さんにプレゼントを届けてくれました。子供サンタも来てくれてみんな満面の笑みです。ステキなひと時をありがとうございました。ルーヴのロールケーキもたいへん好評でした。



嘱託医 三好恵一先生の つぶやきコーナー



人生100年時代

平均寿命とは、0歳児の平均余命のことで、生まれた赤ちゃんが、平均でいつまで生きられるだろうかということです。平成29年時点では、男81.09歳、女87.26歳と計算されております。しかし、めでたく80歳になられた方にとっては、自分は今から余生が何年残っているかが知りたいでしょうね。80歳になられた方の平均余命は男8.95歳、女11.84歳となっております。つまり、表のごとく男の方は88.95歳、女の方は91.84歳まで、運に恵まれれば、生き延びられそうです。

年齢	0才	70才	75才	80才	85才	90才	95才
男	81.09	85.73	87.18	88.95	91.26	94.25	97.81
女	87.26	90.03	90.79	91.84	93.39	95.61	98.59

平均寿命の延び続けている要因としては、食生活の改善により動脈硬化の減少と、脳と心臓の血管障害に対する早期治療、腎不全に対する透析療法が確立され、肝がん発生原因の肝炎対策、胃がん発生原因であるピロリ菌除菌、肺がん発生原因である公害とタバコ対策の進歩が挙げられます。

これからは、身体活動能力を維持するための運動、脳機能の活性維持のための創造的な日課の作成を通じて、一度しかない人生を大いに楽しみましょう。10年後には人生100年という時代が来ようです。

春日記

平成も残すところあと僅かとなりました。「新しい元号はなんじゃろ?」「私はこれで三回目やで」歴史の変わり目にみなさんの興味は尽きません。みき山荘では、平成最後のお正月、春の催しを目一杯楽しみました。

雛祭り

雛祭り



お年寄も職員も童心に返って飾り付けたお雛様を眺めながら、食事会をしました。

食事会



茶会



花展



雛祭りムード一色の中、お茶会を催しました。今回のお菓子の銘は「桃の花」。未生流の花展も開催され、ホームの中は花盛り。

春節



春節(旧正月)メニューは蒸し鶏に焼き餃子、黒酢の酢豚です。職員と一緒に餃子作り。本格中華に舌鼓。

見た目も鮮やかな中華のお祝い料理にみなさんは箸が止まりませんでした。



年末年始

初釜や未生流の花展、豪華な祝い膳やお酒…盛りだくさんの催しで平成最期のお正月をお祝いしました。

初釜



新年会



冬の祭り



この年末も地域交流事業として、お世話になったみなさんやボランティアと一緒に冬の祭りを開催し、イルミネーションで冬を演出しました。

節分

豆まき



鬼に向かって豆まきをした後は今年一年の厄除け、健康を祈ってみんなで福茶をいただきました。

おめでとうございます



ご家族、伊藤良春町長が来所され、100歳のお祝いをしました。これからも末永く元気に、楽しく過ごしていきましょうね。

デイサービス

小物入れ



ガチャガチャのカプセルを利用して、可愛いらしいミカンの小物入れを作りました。主な材料はカプセルと画用紙だけで、ミカンにそっくり。

これをコタツの上に置くと、冬の風情があっていいですね。

新年会



普段と違った料理にみなさん笑顔で食事。午後はお正月らしいゲーム、新年早々に白熱した表情です。職員による出し物で大盛り上がりの新年会となりました。

干支の置物



陶芸の先生をお招きして2019年の干支である亥の置物を作りました。初めての陶芸に皆さん苦戦していましたが、先生の指導の下、約2ヶ月かけて無事に完成。2019年も良い年になりますように。

ケアマネインフォメーション

どんな人が介護認定申請できるのかな？

介護サービスを利用するためにはまず要介護(要支援)認定の申請が必要です。

65歳以上の方で、寝たきりや認知症などで、入浴・排泄・食事などの日常生活動作について介護が必要な方や家事や身支度などの日常生活に支障が出てきて、サービスを利用したいという場合、いつでも認定の申請ができます。

40歳以上64歳以下の方は、介護が必要になった原因が、加齢に伴って生じる特定疾病(16種類)の場合に限られます。

ご本人・ご家族のできる事を継続し、できない事をサービスで補いながら住み慣れた地域での暮らしが続くよう支援していきます。

詳しくは、居宅介護支援事業所ケアマネジャーにお気軽にご相談下さい。
白山山荘居宅介護支援事業所 **TEL 898-7625**

クリスマス



みんながサンタに変身し、ゲームに参加するサンタゲームを行いました。衣装を身に着けて、とても良い表情。最後にはサンタクロースがプレゼントを運んできて、突然演歌を歌い出し、会場は笑い声でいっぱいになりました。